

令和7年度京都府立園部高等学校附属中学校使用教科用図書一覧

令和7年度から使用開始

教科・種目	発行者	教科書名
国語	光村図書出版	国語
書写	教育出版	中学書写
社会(地理的分野)	帝国書院	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
社会(歴史的分野)	帝国書院	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
社会(公民的分野)	帝国書院	社会科 中学生の公民 よりよい社会をめざして
地図	帝国書院	中学校社会科地図
数学	数研出版	これからの 数学
理科	振興出版社啓林館	未来へひろがるサイエンス
音楽(一般)	教育芸術社	中学生の音楽
音楽(器楽合奏)	教育芸術社	中学生の器楽
美術	日本文教出版	美術
保健体育	東京書籍	新編 新しい保健体育
技術・家庭(技術分野)	東京書籍	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭(家庭分野)	開隆堂出版	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
英語	三省堂	NEW CROWN English Series
特別の教科 道徳	光村図書出版	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき

京都府立園部高等学校附属中学校 令和 7 年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
国語	国語	38	光 村	国語科では、基礎的・基本的な内容の定着や思考力、判断力、表現力等の育成を図る教材の取り扱い、高等学校との関連などの観点から検討し、本書が適切であると考え。 ◇基礎的・基本的な内容の定着を図る教材や思考力、判断力、表現力等の育成を図る教材 ・「学びへの扉」（手引き）は、学習活動全体を見通し、自らの学習を調整しながら、対話的に理解や考えを深める構成になっている。【別表 3】 ・「情報と情報との関係」を扱う「思考のレッスン」と「情報の整理」を扱う「情報整理のレッスン」を設け、練習問題を通して実践的に知識や技能を習得できるよう配慮している。【別表 2】 ・巻頭に、1 年間の学習と身に付ける資質・能力が俯瞰できる「学習の見通しを持つよう」を設け、生徒が主体的に学習の見通しを持ったり、既習事項を確かめて次の学習に活かしたりすることができるよう工夫している。【別表 4】 ◇高等学校との関連 ・補充的・発展的な学習ができる配慮がされている。二次元コードには 3 年間で 350 以上のコンテンツが収録されており、個々の目的や興味・関心に応じて自由に選択し、活用しながら高等学校との関連を図ることができる。【別表 1】
書写	中学書写	17	教 出	書写では、1・2 年生では主に硬筆を、3 年生では毛筆を中心としたカリキュラムを編成し、高校の芸術（書道）の内容の一部を中学校で実施している。伝統的な文字文化に関する内容や社会生活と関連した内容の取扱い、高等学校との関連などの観点から検討し、本書が適切であると考え。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる教材 ・「考えよう→生かそう→振り返ろう」の流れで学習に取り組むことができ、学習過程全体が分かる教材を取り扱っている。【別表 4】 ◇社会生活と関連した内容の取扱い ・文字を活用した身の回りの多様な表現として、実際に使われているもの（看板など）の写真や実物例を多数示し、身の回りの筆文字についても考えさせるように工夫されている。【別表 5】 ◇ 伝統的な文字文化との関連 ・歴史上の人物の筆跡、看板や各都道府県にある石碑など、例が多く掲載されている。【別表 5】 ◇高等学校との関連 ・石碑や作家の筆跡などの例を取り上げ、高等学校での「書道」の古典臨書学習への道筋をつけている。【別表 5】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
地理	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	46	帝国	社会（地理的分野）では、地理的な知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であると考えます。 ◇地理的知識及び技能の育成【別表2】 ・地球儀や世界地図を効果的に活用し、世界と日本の地域構成を大観させ、基礎的な知識・技能を身に付けさせる内容を取り上げている。 ・学習内容に対する理解状況に応じて、「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」と段階的に学習が進められるよう工夫されている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 ・世界と日本の諸地域の地域的特色が簡潔・平易に整理されている。 ・地域の学習について、独自の資料や写真が多く使用されているなど、生徒の興味・関心を高め、思考力・判断力・表現力を養う内容となっている。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 ・各単元の「学習を振り返ろう」が、復習やまとめに活用できる適切な課題となっている。 ・「技能をみがく」の内容が、資料の読み取りや地図の読図や作図などに自主的に取り組みやすく工夫されている。 ◇中高一貫教育との関連【別表6】 ・「人権教育」「福祉教育」「キャリア教育」「環境教育」にも適切に触れられているため、他の教科と関連付けて学習する際に適切な資料等が掲載されており、系統的な知識の学習を基本とし、各分野の学習に他分野、他教科の学習内容を導入している同校には適当である。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
歴史	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	46	帝国	教育基本法及び学習指導要領社会科（歴史的分野）の目標「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容との系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表2】 歴史学習の導入で、歴史の流れのまとめ方、時代区分・年代の表し方を説明し、各見開きとともに、小学校の学習内容との関連を示している。単元の導入で、大きなイラストを提示し、時代の特色を視覚的にとらえ、単元末では導入を振り返って関連付け、年表や図でまとめたりしている。基礎的・基本的な知識及び技能の習得のため、他分野との関連を記号で示し、我が国の歴史にかかわる世界の出来事を適切に取り扱っている。各時代を大観するイラストや各種資料を効果的に配置し、資料を読み取る視点を示している。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 章の問い、節の問い、見開きの学習課題を構造化して設定し、単元を見通して思考、判断、表現する活動ができるようにしている。各章末では、年表や資料を用いて各時代の様子を整理・取得させ、例示された言語活動を通して、思考力、判断力、表現力等の育成を図ろうとしている。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 生徒の興味・関心を高めるために、「未来に向けて」「歴史プラス」など多くのコラムを配している。部末には学習を深める自主学習・自由研究を設定している。また、書き込み等の作業的ページや豊富な二次元コードコンテンツ（デジタル資料）もあり、生徒が自ら学習に取り組みやすい工夫がされている。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 同校では、中高一貫校としての社会科教育において、系統的な知識の習得及び他分野・他教科と関連した理解の定着を重視している。また、「道徳教育」「人権教育」との関連性にも重きを置いている。推薦教科書内の資料には、随所に小学校・地理的分野・公民的分野や人権教育にかかわる資料の明示がされていること、豊富な二次元コードコンテンツも活用できることから、同校の目指す学習に適していると判断できる。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
公民	社会科 中学生の公民 よりよい社会をめざして	46	帝国	教育基本法及び学習指導要領社会科（公民的分野）の目標「現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を培う。」に従って、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容との系統性を図りながらバランス良く選択・配列している。同校の中高一貫教育のねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着【別表2】 歴史的分野との接続も考慮しながら、私たちの生きる現代社会について高度経済成長期以降の社会的事象を適切に取り上げている。また、基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着を図るため各章末の「章の学習を振り返ろう」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。さらに、折り合いをつけることに関して、具体的な6事例を取り上げている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 单元ごとに目当てとなる課題を設定し、更に深める課題も設定している。社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現力を充実させる工夫として具体的な事例を挙げている。表現活動の充実への工夫として、ロールプレイングの方法やディベートを深める手法などを紹介している。 ◇主体的・対話的な学習【別表4】 生徒が主体的・対話的に学習できるように、「アクティブ公民」や「技能をみがく」で課題を設定している。また、様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。 ◇地理・歴史的分野との関連【別表5】 該当するページに、「小学校・地理・歴史を振り返る」として、他分野で学習してきた語句を振り返る工夫をしている。巻末に「第二次世界大戦後の歩み」の資料を掲載し、現代史と関連させて振り返る工夫をしている。さらに、道徳科との関連については、主として集団や社会とのかかわりに関する内容を取り扱っている。 ◇中高一貫教育との関連【別表1】 同校の社会科では、系統的な知識の学習を基本とし、地理・歴史・公民各分野、他の教科との関連性を重視していることから、各分野の学習に他分野、他の教科の学習内容を導入している。本書は写真や資料などが豊富であり、「人権教育」との関連性を重視する学習に適している。また、巻末には高等学校での学習への動機付けに配慮されており、3分野を共通の発行者のものにすることで3年間の系統立てた指導が可能になるとともに、高等学校で使用されている教科書との関連性も深め、6年間を見通した一貫した指導を目指している点からも適していると考え。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
地図	中学校社会科地図	46	帝国	地図では、社会科における知識及び技能や思考力、判断力、表現力等の育成などに関する教材の取扱い、中高一貫教育との関連について検討し、本書が適切であるとする。 ◇社会科における知識及び技能の育成【別表2】 ・冒頭において使い方を丁寧に説明しており、調べ学習の例示も適切である。 ・写真と実測図の比較を掲載することで、学習効果が高まるよう工夫されている。 ◇思考力、判断力、表現力等の育成【別表3】 ・地域図・主題図などが充実しており、系統的に掲載されている。 ・歴史や公民などの分野に関連する資料図を掲載しているため、他の分野と関連付けながら学習できる工夫がされている。 ◇生徒が主体的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 ・写真やイラストなどを豊富に掲載し、興味・関心を高めるよう工夫されている。 ・各国の比較・関連を重視したグラフや写真が掲載されている。 ◇中高一貫教育との関連【別表6】 ・系統的な知識の学習を基本とし、各分野の学習に他分野、他教科の学習内容を導入している同校には、地理分野の情報だけでなく歴史的分野や公民的分野の国際社会など社会科全般に活用できる情報が盛り込まれており、関連性を重視している本書は適切である。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
数学	これからの 数学	104	数 研	数学では、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮、生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮、高等学校との関連について検討し、本書が適切であるとする。 ◇基礎的・基本的な内容の習得を図るための配慮 ・学び直しができるよう、側注に「ふりかえり」を設けている。 ・項目末に練習問題が設けられており、復習できるよう工夫がされている。 ・節末の「確認問題」で理解の確認を行うとともに、振り返るページを示している。【別表2】 ◇思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮 ・「やってみよう」「調べよう」「考えよう」では、学習した内容に関連した話題や問題があり、内容を更に深める活動ができるよう示されている。 ・「TRY」では、活動を通して解決するための課題があり、更に思考力を深める内容となっている。【別表3】 ◇生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができる配慮 ・各章の学習の前に「ふりかえり」のページを設けている。 ・導入で人物キャラクターによる対話を入れることで、学ぶ内容の見通しを持つことができるように工夫されている。 ・活動を通して解決するための課題「TRY」と学習の中で大事にしたい問いかけ「Q」を提示するという流れで見通しをもって学習できるように工夫されている。【別表4】 ◇高等学校との関連 ・「発展マーク」で当該学年の学習指導要領に示されていない内容、高等学校で学習する内容と関連した内容を取り上げている。【別表5】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
理科	未来へひろがるサイエンス	61	啓林館	理科では、基礎的・基本的な内容の定着とともに、思考力、判断力、表現力等の育成を図るための教材の取扱い、さらに中高一貫教育との関連について検討し、以下の理由により本書が適切であるとする。 ◇学習指導を進める上で適切な内容や構成 実験・観察・実習は3年間を通して適切に掲載し、単元・章の始めに内容に関連する既習事項を示している。実験・観察を説明する場面でそのポイントを簡潔に示し、特定の実験については使う技能について紹介している。章末及び単元末（二次元コードで対応）に練習問題を掲載し、索引に基本用語を適切に掲載している。 本編内において、生徒の探究意欲を高める工夫や生徒の興味・関心を高める工夫が凝らされている。具体例やものの見方・考え方を適宜吹き出しなどで示すことで思考を働かせる工夫を凝らしたり、観察・実験の目的を明確に示すことで生徒が主体的に取り組めるように工夫したりしている。 実験・観察の結果分析において、まとめの文例が丁寧に記されている。また、実験・観察の後述及び巻末に課題解決的な学びのための振り返りの観点とその例を示す項目が設置されている。 巻頭や単元の最初に学習の流れを明示するなど、見通しを持って学習に取り組めるよう工夫し、主体的に取り組める探究的な学びの場면을提示している。 内容の解説や単元末の振り返り問題を記載し、対話的な学習の場面を設けるとともに、適宜キャラクターと吹き出しを用いた対話の具体例を記載している。【別表2、3、4】 ◇使用上の便宜の工夫 ユニバーサルデザイン化に向けた工夫を行っている。また、二次元コードからデジタルコンテンツに接続できる。全学年の巻末に資料と「探Qシート」4枚があり、デジタル教科書がある。【別表7】 ◇中高一貫教育との関連 「発展」と明記した形式で各単元内に掲載し、本編に関連した発展的な学習内容や語句の解説、科学的なトピックを、読み物資料を中心として記載している。今日的な課題については、3年の最終単元で集中的に取り組んでいる。調べ学習や自由研究、発展的な実験・観察に繋がる内容が記載されている。また、災害から得た知識を未来に活かす「未来指向型の防災・減災教育」の考えに沿って全体が記述されており、SDGsや自然災害などに関する内容を取り扱っている。【別表5、6】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
音楽 一般	中学生の音楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された内容を習得できるように、小学校の内容との系統性を図りながら2領域4分野をバランス良く選択・配列している。我が国の伝統文化や特別の教科 道徳との関連を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫【別表1、2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連をマトリックス表で示し、学びの見通しを持つことができるよう構成を工夫している。また、全教材の左端に目標及び音楽を形作っている要素を示し、知覚と感受の関わりを考えることができるよう紙面を工夫をしている。 ・音楽と生活、社会、文化等とのつながりや音楽の価値を考える題材を巻頭に示し、社会とつながりの視点をテーマとして全体に配置している。 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・教師役のキャラクターによる課題提示や助言、生徒役のキャラクターによる疑問や気付き等の吹き出しを随所に配置し、思考力・判断力・表現力等の育成を図り、主体的な課題解決のきっかけとなるよう工夫している。また、歌唱分野の表現の工夫や、鑑賞分野の曲想と音楽の構造との関わりなどについての考えを書き込むワークシートを提示しながら、対話的に学ぶ活動例を示している。 ◇我が国の伝統文化や特別な教科 道徳との関連を重視した内容構成【別表1、6】
音楽 器楽	中学生の器楽	27	教芸	教育基本法及び学習指導要領音楽科の目標に従って、生活や社会の中の音や音楽との関わり、三つの資質・能力、主体的・対話的で深い学びを重点として構成し、学習指導要領に示された器楽分野等の内容を習得できるように器楽教材を精選し、小学校の内容と系統性を図っている。各楽器の奏法を写真や二次元コードでわかりやすく示して教材を基礎技能から難易度順に配列し主体的な学びに対応できる構成となっている。特に、日本の伝統的な楽器は、五線譜と伝統的に使用してきた楽譜の二種類を併記し、口唱歌を添えている。また音楽一般の教材と関連させた教材も多く、表現と鑑賞を一体的に学べるよう工夫している。我が国の伝統文化や特別な教科 道徳との関連を重視した中高一貫校としてのねらいに鑑み、本書が適切であると考え。 ◇学習指導要領の目標達成のための工夫及び基礎的な技能を身に付けることができる適切な教材配置【別表1、2】 ・1年間の学習内容と三つの資質・能力との関連を「学びの地図」のマトリックス表で示し、楽器をリコーダー・ギター・箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八・打楽器・アンサンブルの順に配列し、奏法を写真や二次元コードによってわかりやすく示している。 ◇主体的・対話的で深い学びに対応した工夫【別表3、4】 ・「学びのコンパス」で曲の構成やパートの役割を考えて対話的に学ぶ例を示している。またすべての教材に二次元コードを配置して模範演奏を示し、主体的な学びに対応している。 ◇我が国の伝統文化や特別な教科 道徳との関連を重視した内容構成【別表1、6】 ・各和楽器奏者からのメッセージや楽器を演奏する姿勢や奏法、礼儀作法などの背景となる文化や歴史等について幅広く掲載している。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
美術	美術	116	日文	美術科では、学習指導要領に示す目標の達成のための工夫、基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮、思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮、他の教科等との関連等の観点から検討し、本書が適切であると考える。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫 ・学習指導要領の目標に基づいた内容をバランス良く取り上げている。 ・学年別の指導を考え、「美術1」、「美術2・3上」、「美術2・3下」の3分冊で構成されている。各学年の発達段階を考慮した題材設定をし、資質・能力を育成できるよう工夫されている。 ・表現する活動を主にした題材においても、表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮がされている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮 ・各巻末の資料ページは題材に対応し、基本的な用具の使い方や技法、色彩の基本、材料についての知識、美術史の資料などを掲載し、基礎的・基本的な内容の定着を図れるよう工夫している。【別表2、7】 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 ・題材ページでは生徒の発想や構想の手掛かりとして、掲載作品の作者の言葉を掲載し、その思いに触れ、発想や構想を広げ深めることが出来るよう配慮されている。【別表3】 ◇生徒の主体性や学習意欲を喚起する配慮 ・各題材に「学びの目標」を設定し、育成すべき資質・能力が生徒にも理解しやすい言葉で示され、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・「教科書の使い方」で題材ページの見方や使い方を示し、また生徒が授業の見通しをもって活動できるよう紙面が工夫されている。【別表1、3、4、7】 ◇他の教科等との関連 ・道徳と深く関連する題材ページには、紙面の下部に特別な教科 道徳の内容項目に対応した文章を示し、生徒の意識を促しながら関連を図った学習ができるように配慮している。【別表6】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
保健 体育	新編 新しい保健体育	2	東書	各章ごとに二次元コードコンテンツとして「学習のまとめ」を配置し、学習内容の理解が深まるように工夫している。また、各章ごとに小学校で学習したことや高等学校で学習することを関連付けて示している。従って、中高一貫校の特色ある教育を推進するには、本書が適切であると考ええる。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮【別表2】 「見つける」「学習課題」「課題の解決（「発問」「本文・資料」「活用する）」」「広げる」の流れに沿って学習を進めることで、基礎的・基本的な知識及び技能を習得できるように配慮している。 各章末の章末資料に「学習のまとめ」が配置されており、二次元コードからキーワードや章末問題を読み込み、知識の習得状況を確認することができるように配慮している。教科書内の二次元コードから動画コンテンツや他教科とのリンク、外部サイトへアクセスすることができ、学習内容を深めることができる。 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮【別表3】 「見つける」や「課題の解決（「発問」「本文・資料」「活用する）」、「広げる」では、それぞれのステップに応じて思考力・判断力・表現力等を育成することができる発問が設定しており、課題の合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、それを表現することができるように配慮している。また、章末資料「学習のまとめ」に“日常生活に生かそう”、“SDGs について考えよう”の問いが配置されており、ワークシートをダウンロードし、まとめられるように配慮している。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 「課題の解決」では、内容のまとまりごとに「発問」を設け、資料などを主体的に読み解き理解できるよう配慮し、「活用する」では、他者に説明したり他者と話し合ったりする活動を取り上げ、対話的に学習に取り組むことができるように配慮し、「広げる」では、学習したことを自分の生活に当てはめることで、よりよく生活する実践力を高めるよう配慮している。 ◇学習指導要領に示していない内容の取扱い【別表5】 「読み物」、「章末資料」で発展的な内容の資料や学習課題について取り扱っている。 ◇他の教科等との関連【別表6】 理科、社会、家庭や特別の教科 道徳の内容と関連する学習課題や資料を本文中に取り扱っている。 ◇表記・表現の工夫【別表7】 本文中の注記以外に、キーワードの解説があり、関連する本文ページをマークで示し、本文中に資料と関連付ける印がある。知識の確認と活用のための「学習のまとめ」のページを用意している。ユニバーサルデザインに配慮された文字、色、レイアウトとなっている。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
技術	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	2	東書	技術・家庭科（技術分野）では、以下の観点から検討し、本書が適切と考える。 ◇全体としての特徴や創意工夫【別表1】 「見方・考え方」については、ガイダンスにおいて「技術のめがね」「最適化の窓」で社会における技術を見ることで気づきが得られるようになっており、各編の導入において、身の回りの製品を取り上げ、既存の技術の工夫を読み取ることができるように工夫されている。 学習内容が、身の回りの問題解決から社会の問題解決まで幅広く収載されている。統合的な問題解決については、具体例が掲載されている。 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮【別表2】 基礎的・基本的な知識や技能については、「技術のとびら」「TECH Lab」でまとめられている。 安全については、巻頭に「作業を安全に楽しく進めよう」が示されており、各章での安全や衛生のポイントは「安全」マーク、「衛生」マークを付けて、生徒の注意を喚起している。 ◇思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮【別表3】 問題解決例のページは、問題解決のプロセスに沿った紙面構成となっており、自らの問題解決に主体的に取り組むことができるようになっている。 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮【別表4】 各編末には「学習のまとめ」のページがあり、評価の観点である「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」について、学習内容の定着を確認できるようになっている。各編の最終章には、持続可能な社会の構築に向けて、生徒自身が考えられるようなワークシートが掲載されている。 ◇学習指導要領に示していない内容の取り扱い【別表5】 巻末には「学んだことを社会に生かす」を設け、技術分野の学習内容を広げて、将来に生かしてほしいというメッセージが掲載されている。 ◇他の教科等との関連【別表6】 随所に「小学校」「他教科」マークを付して、他教科と学年及び学習内容の関連を示している。特別の教科 道徳については「まとめと発表の仕方ポイント」「生物育成の技術と環境との関わり」「情報セキュリティと情報モラル」の内容で記載している。

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
家庭	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ	9	開隆堂	技術・家庭科（家庭分野）では、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮、学習指導要領に示していない内容の取扱い、他の教科等との関連、表記・表現の工夫の観点から検討し、本書が適切と考える。 ◇学習指導要領に示す目標の達成のための工夫 ・技術・家庭科（家庭分野）で学習する内容について、3年間を見通した学習イメージを持たせ、生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、各内容を関連付けて学習できるように工夫されている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 ・調理や製作等の実習では、手順や技能面の詳細について写真やイラストを用いて分かりやすく示し、生徒が基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるように工夫されている。【別表2】 ・生活を自分事として捉え、生活の中から考えたり、実践したりする課題や学習を振り返り、自分の生活に生かしていくなどの問題解決的な学習を充実させるための工夫がされている。【別表3、4】 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 ・実践的・体験的活動を通して、話し合いの活動や思考する活動などさまざまな言語活動ができ、生徒自らの考えを広げて深められるように工夫されている。【別表3、4】 ◇学習指導要領に示していない内容の取扱い、他の教科等との関連 ・発展的な内容を取り上げ、生徒の関心や意欲を高め、高等学校の学習や他教科の学習につなげるための工夫がされている。【別表5】 ・他教科や技術分野、特別の教科 道徳等の学習内容との関連性を示し、生徒が見通しをもった学習ができるように工夫されている。【別表6】 ◇使用上の便宜の工夫 ・写真や資料、豆知識が多く、幅広い知識や情報を提供している。また、学習の場面で効果的に活用できるデジタルコンテンツが豊富に掲載されている。【別表7】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
英語	NEW CROWN English Series	15	三省堂	英語では、全体としての特徴や創意工夫、基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮及び思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮、生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮について検討し、本書が適切であると考ええる。 ◇全体としての特徴や創意工夫 ・学習指導要領の示す目標に従い、コミュニケーション能力の基礎を養うために、単元構成を工夫し、単元ごとの学習到達目標を明確に示している。小学校との接続のための工夫や学習した内容を統合して活動する工夫、即興で伝え合う工夫を取り入れている。【別表1】 ◇基礎的・基本的な内容の定着を図るための配慮及び思考力、判断力、表現力等の育成を図るための配慮 ・4技能5領域をバランスよく育成するように配慮している。【別表2】 ・小単元ごとに、基本文について4技能5領域を用いた基本的な活動を行っている。また、主要単元で複数の技能・領域を統合的に活用した自己表現活動を設定している。【別表2】 ・基礎・基本の習得から、基礎的な力を活用して長文を読んだり、話したり書いたりする活動まで、段階を追って学習できるよう工夫している。【別表3】 ◇生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 ・学習の見通しを持ったり、学習内容を振り返ったりする工夫をしている。また、聞いたり読んだりしたことについて、意見を述べ合うなどの力が育成できる構成となっている。【別表4】

京都府立園部高等学校附属中学校 令和7年度使用教科用図書 採択理由書

学校教育課

種目	教科書名	発行者 番 号	発行者 略 称	採 択 理 由
特別の教科 道 徳	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき	38	光村	特別の教科 道徳科では、学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること、学習指導要領に沿った学習を進める上で、内容や構成における工夫がなされていることについて検討し、本書が適切であると考え。 1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること (1) 全体としての特徴や創意工夫 生徒の実態に即した現代的課題や生徒の興味・関心を引き出す題材を幅広く取り扱っている。「共に生きるために」が大きなテーマとして設定され、「人権」について考えることに重点を置いている。 2 学習指導要領に沿った学習を進める上で、内容や構成における工夫がなされていること (1) 道徳的諸価値についての理解を深めるための工夫 それぞれの内容項目について、生徒が「自分のこと」として捉え、道徳的価値について深く考えさせる内容のものが多く、また、「考え、議論する」道徳の授業になるように、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な活動を取り入れており、授業の展開をイメージしやすい。 (2) 物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めるための工夫 生命の尊さを直接的、間接的に扱った題材や、正義感や友情など豊かな心を3年間継続して育むための多様な教材を取り上げている。 教材配列は、関連する内容項目が有機的に結びつくように工夫がされており、年間を通して計画的に学びを深めることができるような構成になっている。 (3) 現代的な課題などの題材の取扱い 「いじめ問題」について、読み物教材と具体的な活動を伴う「まなびをプラス」を組み合わせ、生徒が自分ごととして問題を捉えられるように工夫されている。 教科書全般にわたって教材や挿絵に登場する人物などに性別による偏りがないよう配慮されている。人種、身体的特徴についても多様性に意を用いると共に人権に配慮した記述がなされ、またジェンダーバイアス等を助長しない表現への配慮がなされている。 (4) 他教科等との関連 各教科と関連ある教材がバランスよく配置され、学校教育活動の中心として各教科と関連づけた道徳の時間の充実を図ることが可能である。 国際理解教育、キャリア教育など「総合的な学習の時間」にかかわる指導に有効な教材が充実している。